

日時：平成30年6月7日（木） 11：00～11：20

場所：市役所第4会議室

出席者：市長、副市長、理事、企画部長、総務部次長、教育次長、商工観光課長

取材者：岩手日報、読売新聞、テレビ岩手、岩手放送、岩手朝日テレビ、朝日新聞、東海新報、NHK、河北新報、岩手めんこいテレビ（敬称略、順不同）

## 市長挨拶

今日は、明日から始まる6月議会の内容等についてお話しさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

## 会見項目

### (1)平成30年第2回市議会定例会について

市長)

会期は6月8日から6月21日までの14日間です。

一般質問は9名の議員さんから通告を受けております。

提出案件ではありますが、報告が5件、提出議案が26件であります。

報告第1号、平成29年度陸前高田市一般会計 繰越明許費 繰越計算書についてであります。繰越を行う事業は34事業で、繰越の総額は30億4,110万8千円となっております。

報告第2号、平成29年度陸前高田市下水道事業 特別会計繰越明許費 繰越計算書についてであります。繰越を行う事業は2事業で、繰越額は1億3,301万7千円となっております。

次に、報告第3号、平成29年度陸前高田市農業集落排水事業 特別会計繰越明許費 繰越計算書についてであります。繰越を行う事業は1事業で、繰越額は2,660万円となっております。

報告第4号、平成29年度陸前高田市一般会計 事故繰越し 繰越計算書についてであります。事故繰越しを行う事業は3事業で、主に事業調整等で時間を要したことによる工期延長で、繰越の総額は53億6,583万1,474円となっております。

報告第5号、平成29年度陸前高田市水道事業会計予算 繰越計算書についてであります。造成工事等の遅れによる配水管敷設工事等12事業の繰越で、繰越額は5億6,963万9千円となっております。

以上が報告5件であります。

続きまして、提出議案であります。

議案第1号は、平成29年度陸前高田市一般会計補正予算（第7号）の専決処分についてであります。

今回の補正の内容ですが、復旧・復興事業の財源の確定等に伴い、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,170万8千円を追加し、総額をそれぞれ877億4,081万7千円とするものであります。

議案第2号は、陸前高田市市税条例の一部を改正する条例の専決処分についてですが、地方税法等の一部改正に伴う、所要の改正であります。

議案第3号は、陸前高田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分についてですが、地方税法施行令等の一部改正に伴う、所要の改正であります。

議案第4号は、固定資産評価員の選任についてですが、職員の異動により税務課長を固定資産評価員に選任しようとして、提案するものであります。

議案第5号から議案第15号までは、農業委員会の委員の任命についてですが、農業委員会の委員の任期の満了に伴い、新農業委員会制度における委員を任命しようとして、提案するものであります。

議案第16号の脇之沢漁港（利用調整施設）災害復旧工事の変更請負契約締結についてですが、現場精査による事業費の減額変更であります。

議案第17号は、陸前高田市被災市街地復興整備事業の変更業務委託契約の締結についてですが、事業計画変更に伴う、公共施設整備費等の事業費を追加しようとして提案するものであります。

議案第18号及び議案第19号は、それぞれ高田松原公園災害復旧工事の請負契約締結についてですが、その2は土木工事の市単独追加工事分、その3は公園施設の建築工事分の請負契約を締結しようとして、提案するものであります。

議案第20号は、(仮称)陸前高田市民文化会館新築工事の請負契約締結についてですが、新築工事の請負契約を締結しようとして提案するものであります。

議案第21号は、財産の取得についてですが、高田地区防災集団移転促進事業の用に供する土地を取得しようとして提案するものであります。

議案第22号は、陸前高田市高田松原地域復興施設条例ですが、高田松原津波復興祈念公園内に、物産施設を整備しようとして提案するものであります。

議案第23号は、平成30年度陸前高田市一般会計補正予算（第1号）についてであ

ります。

今回の補正の内容ですが、復旧・復興関連事業費等を計上しているところであり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ51億7,510万8千円を追加し、総額をそれぞれ947億2,210万8千円とするものであります。

主な事業であります。公共施設の公衆無線LAN環境整備を行う地域情報化推進事業に1,700万円、自治会館の整備に対する補助を行う自治会館等整備事業に1,000万円、応急仮設住宅の集会施設解体工事やグラウンド整備を行う災害救助事業に1億3,600万円、区画整理事業の進捗に伴い高田・今泉土地区画整理事業に48億3,300万円、復興応援Vリーグフェスティバル in 陸前高田の開催に対する補助として社会体育振興事業に60万円などを、計上させていただいたところであります。

議案第24号から議案第26号までは陸前高田市国民健康保険特別会計から水道事業会計までの、3つの特別会計などの補正予算であります。説明は割愛させていただきます。

以上で議案の説明を終わります。

【質疑】

なし

## (2) 6～8月の行事予定について

【質疑】

質問)

広田海水浴場海開きに関連して、海水浴場に付随するシャワーやトイレの施設等の整備はどのようになるのでしょうか。また、田谷海岸もいずれ海開きが行われるのでしょうか。

担当者)

大野海岸においては、震災前からシャワートイレがあり、トイレにつきましては使用ができる状態になっております。シャワーにつきましては、今回県により整備されており、夏の海水浴シーズン時に使用できるように進めたいと考えております。

田谷海岸の海水浴場につきましては、自然による砂浜の再生が難しいことから、開設は未定となっております。

質問)

震災後、初めての市内での海開きとなりますが、市長の所感はいかがでしょう。

市長)

子ども達から海に入りたいという声にこたえられない現状は、子ども達にとって厳しい状況だったと思われるので、小さいながら海水浴場がオープンできるということは、我々にとっても嬉しいことでもあります。今後は高田松原や追悼祈念施設、道の駅などに

来ていただくお客様や商店街のみなさんを含めて、元気になる要素の一つになると思っていますので、今回海開きができるということは、色んな人達にとって素晴らしいものになると思っています。

質問)

大野海岸の規模はどの位のものになりますか。

担当者)

震災前は、田谷海岸と大野海岸の海水浴場を合わせて広田海水浴場としていた。入りこみとしては、高田松原の方が圧倒的に多く、広田海水浴場は知る人ぞ知る水質が良好な海水浴場となっていた。田谷海岸の海水浴場には、地元の商店の方々が海の家などを出していたが、大野海岸では砂浜が狭かったため、海の家は出ていなかった。今回はテントでも出店したいという地元の方の声があれば、県と調整をしながら開設できればと考えています。

質問)

大野海岸の付近には、まだ工事用のクレーンがありますが、海開き時にもあるのでしょうか。

担当者)

海開き時にも工事を進めるため、クレーンはあると思われませんが、遊泳区域を定めるため、来客者は安全な区域の中で楽しんでいただければと考えておりますので、クレーンは関係ないと思われま。

以 上